



安全・安心 ふれあい 連携

発行者：朝日連区地域づくり協議会・広報委員会

資源回収推進協議会研修会を開催



12月12日(土)南部公民館で、各地区の資源回収推進委員の方々を対象に研修会が開催され、一宮市環境部清掃対策課から資料に基づいて説明がありました。

清掃対策課の方の説明(抜粋)

一宮市のごみ(可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ)収集の現状については、12万台だったものが、平成20年に分別ルールを統一してから10万台で推移しています。これはプラスチック製容器包装も資源として扱うようになり、ごみ分別の意識が高まったからだと考えています。

環境センターでは、平成26年度に空き缶・金属類は分類して売却し4,230万円、不燃・粗大ごみは一部手作業で分類して売却し3,343万円になりました。こうして不燃・粗大ごみは収集7,200tの内、埋め立ては1,730tとなりました。

可燃ごみは15%が灰となります。昨年15,951t灰がでましたが、光明寺で埋め立てたのは3,092tと約2割で、残りは県や三重県・群馬県にも依頼して処分しています。可燃ごみは食べ物も多いので、「残さない・作り過ぎない・買い過ぎない」事をお願いしたいと思っています。**一人1日53gのごみ減量を!**

質疑応答 ① 傷害保険について 「町内資源回収時に怪我等をした時は、事前に登録していなくても、事故発生時に市に連絡して貰えば対処します」

② 回収時期の調整について 「学校は連区と、子供会等は町内会とで調整して下さい」

③ 回収業者の経費について 「回収業者には、集めた量の多少での補助金は出してはしません。回収作業を業務委託していて、その費用を払っています」



質問

《連区の年末年始》

ゴォーン

おめでとうございます



新しい鐘楼で 吉藤 興安寺



玉野 八剣社の初詣

12月17日

役員会を開催

27年度の事業報告・28年度の事業計画・27年度会計報告・地域づくり協議会提案事業等について話し合いました。

アルミ缶アートに挑戦しました！

12月12日(土)に南部公民館で、児童対象にアルミ缶アートを作る学校外活動推進事業が行われ、33名が参加し腕を振るいました。

参加児童の感想

- ☆ 今日はお父さんの誕生日で、このアート作りがあったのでこれはサプライズになるなと思い参加しました。そして、ずーっとこの絵を頭に描いてきました。お父さんはこれを見て喜んでくれると思います。
- ☆ ものすごく集中出来て、学校でやる図工より楽しかった。
- ☆ さっきまではもっとやりたいと思ったけれど、今は疲れた。
- ☆ 叩くところが面白かった。上手に出来たと思う。クリスマスの飾りになるので嬉しい。
- ☆ 猿と雪だるまの絵は、今日ここへ来て考えて作りました。
- ☆ 外形を叩くのが大変だった。
- ☆ 裏に触って、叩いてへこんだところがザラザラするのが面白かった。



講師説明中



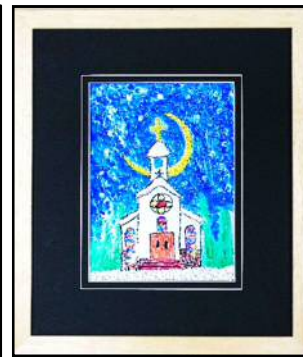
制作中



講師さんの話(抜粋)

子供さんの3割~4割の方が毎回来てくれるのが一番嬉しいことです。子供さんの作品が、私たちの持ってくる原画から離れて、オリジナルなものになってくるのが一番いいと思います。募集する段階で、「自分の好きなものが描けますよ」と伝えて貰えると、事前に考えられるかなと思います。

作品が出来ました



《連区あれこれ》 孝子佐吾平騒動の伝承 その3 (昭和38年発行 朝日村誌より抜粋)

訂正 明石侯は斉宣ではなく斉宣でした。

【伝承は尾西歴史民俗資料館学芸員さんの話も参考にしています。資料館一階で騒動のスライド上映が見られます。】

動と言い、今現地に小社がある。(おわり)

佐吾平が切られたのは、吉藤村字風張の街道端の松並木の所であると言われている。この事件を、世に佐吾平騒動と言い、今現地に小社がある。(おわり)

大問題になった当時の尾張藩は、八代將軍後継問題で敗れた上、名君宗春に圧迫を加えられた恨みの伝統が残り、家臣の間には、常に幕府に目に物見せようとしているものがあつた。

結局幕府は、明石侯の乱心を認めて、半地没収の処分をせざるを得なかつた。

その後、明石侯が尾張藩領内を通行する際は、夜間に葬列によつての往来に限って許され、特に名古屋城下は堀川を舟で上下させられた。数年後にようやく昼間、しかしちようちんをつけての行装で通ることを許されたと言つ。



資料館のスライドより